

二月のことば

拝まないときも

拝んでいて下さっている阿弥陀さま



《東井義雄先生の言葉から》

地獄には既製品はありません。みんな、自分の作った地獄に、自分でおちこんでいくのです。

私たちは毎日毎日、地獄を作る営みに精をだしています。憎んだり怨んだり、人を責めたり傷つけたり。それが再びはねかえってくるので、自分に倍になって返ってきます。だから闇は深くなり長い夜が続きます。

ところが闇が深まるほど輝く星のように、暗い闇を歩く私たちを見かねて、仏の世界からとびだして南無阿弥陀仏の声にいられたのが阿弥陀仏であります。

南無阿弥陀仏は、天地いっぱいにもちみちて、はたらきずめにはたらいてくださっているのです。

私がよそへ出かけるとき、自転車で六キロほど山を下るのですが、途中、地蔵峠という坂道にお地蔵さまがたっておられます。出がけに「ご挨拶を忘れぬように」と言い聞かせていても、坂道を、風を切つて下ると気持ちが良いので、たいてい忘れてしまいます。ところが、帰りに坂道を自転車を押して上がるときに、いつも「ハッ」とします。

お地蔵さまが、私を拝んでくださっているのです。私が坂道を下るときにも、拝んでくださっていたのです。私が合掌する前に、拝んでくださる阿弥陀さま。拝まないときも拝んでくださる阿弥陀さま。

スエはあちゃん 153回



しんころの中
スエさんほ おのれの
作品にとりく
む日々で
あった...



スエはあーちゃん
ありがみできたー
ハイイッ
てきたヨ

